

研究通信

No 170

刊 1992年10月1日
社 村落社会研究会
務 事務局
関 西学院大学
鳥 越 皓 之
西宮市上ヶ原1番町1-155
TEL 0798-53-6111
(内線5314)

第四〇回村落社会研究会大会プログラム

第一日(一〇月二十九日)午前九時開会

自由報告(報告二〇分、質疑五分)

①池岡義孝(九:〇〇—九:二五)

「漁師のライフコースのコーホート間比較」

②後藤範章(九:二五—九:五〇)

「山間集落における家族・地域生活の変容と連続性」

③小林和美(九:五〇—一〇:一五)

「水利組織と村落構造」

④高橋明善・渥美剛・築山秀夫(一〇:一五—一〇:四〇)

「水田村落の解体と混住村落の形成」

休息(一〇:四〇—一〇:五五)

⑤玉里恵美子(一〇:五五—一一:二〇)

「兼業深化地域における農地貸借関係」

⑥徳野貞雄(一一:二〇—一一:四五)

「合鴨水稲同時作運動の展開と意義」

⑦野崎敏郎(一一:四五—一一:一〇)

「日本の社会関係とゲマインシャフト」

⑧酒井出(一一:一〇—一一:三五)

「日・タイ事例村落における村落統合様式の比較考察」

昼食(一一:四〇—一一:四〇)(運営委員会)

⑨三溝博之(一一:四〇—一一:四〇)

「中村共同体論と村落研究」

⑩長谷部弘(一一:四〇—一一:四〇)

「有賀同族団論と歴史学研究」

⑪国方敬司(一一:四〇—一一:四〇)

「イギリスにおけるムラの形成と領支配」

⑫長嶋武敏(一一:四〇—一一:四〇)

「イギリス中世の村落共同体」

⑬⑭⑮の共同質疑(一一:四〇—一一:二〇)

休息(一一:二〇—一一:四〇)

特別報告

内藤完爾(一一:四〇—一一:二〇)

「再相統の話」

総会(一一:二〇—一一:二〇)

懇親会(一一:四五—)

第二日(一〇月三〇日)午前八時三〇分開会

課題報告(三〇分、質疑一〇分)

「日本農業・農村研究の課題を求めて」

——家族経営危機の国際比較・環境問題・農業危機・集落機能の接

点としての家族経営危機——」

〈司会〉磯辺俊彦、細谷昂、橋本和幸。

河村能夫（八：三〇—八：四〇）

「共通課題趣旨説明」

池上甲一（八：四〇—九：二〇）

「日本の家族経営の、危機、と集落宮農——京都府中山間地域を事例として——」

加藤光一（九：二〇—一〇：〇〇）

「東北庄内地方の農家・韓国全羅北道の農家」

チュン・キ・ファン（一〇：〇〇—一一：〇〇、通訳時間を含む）

「農家人口の離農が家族農構造の変化に及ぼす影響」

休息（一一：〇〇—一一：二〇）

宿題委員会・地区研究会報告（一一：二〇—一二：〇〇）

昼食（運営委員会）

共同討議（一三：〇〇—一五：〇〇）

閉会・午後三時（米沢和彦）